

# 「地震と生きる

## 「大地は何を語るのか」

日本の歴史は地震の歴史ともいえる。どんな時代に地震が起きて、人々の身に何をもちたのか。「地震考古学」から見た過去の経験と教訓を考えてみたい。

1	5月16日 (火)	どうする秀吉	天正地震と慶長伏見地震
2	5月30日 (火)	不運な綱吉	南海トラフ巨大地震と現代
3	6月6日 (火)	悩んだ道真	九世紀の地震と現代

(14:00~15:30) 定員 20人 参加費 各回1000円

講師 **寒川 旭さん** (地震考古学者)

1947年香川県生まれ。東北大学大学院博士課程修了。理学博士。独立行政法人産業技術総合研究所で長く研究員を勤めた。著書に「地震考古学」「地震の日本史」など。

会場：大阪淀屋橋、**中楽坊情報館**

(大阪市中央区伏見区4-2-14

WAKITA藤村御堂筋ビル地下1階

大阪メトロ「淀屋橋」駅13番出口を出てすぐ南側のビル)

LINE公式アカウントからも参加申し込みできます。

@591byhij

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください



申し込みは 大阪自由大学事務局へ

電話 050-5583-7403

mail: kansaiforum@gmail.com

